

# 第46回西日本軟式野球大会 対馬予選会の結果

【1部・2部の同日開催】

会期 令和6年3月17日(日)  
会場 美津島野球場

## 1部 (B級)

厳原マリナーズ 0  
Bravo 7  
②11:15

## 2部 (C級)

対馬・J 4  
球王クラブ 6  
ドンジャース 0  
①09:30  
③13:00

②【1部決勝戦】 11:21～ 1時間25分 5回コールドゲーム

Bravo	005 02	1	【本】山代 = 満塁
厳原マリナーズ	000 00	2	【三】工藤、江崎

初回と二回に双方とも先制機を逸した。先攻のBravoは山口が先頭安打。二盗と犠打三進後に捕手牽制球で憤死。二回は一死後に安打の鳥羽が二盗するも三盗死。続く二者が連続四球と暴投三進も逸した。後攻のマリナーズは初回一死後に2連続四球も三ゴロ併殺。二回には先頭の工藤が右中間三塁打するも後続2者が連続の空振り三振。

三回のBravoは山口の先頭安打に死四球の満塁走者を山代が左翼フェンス越え本塁打で還し、代わった原田から四球と暴投二進後に鳥羽が左線適時打して点差を広げた。続く真木に死球を与えた無死一二塁は代わった鬼橋から1四球を得た満塁走者を残した。四回も先頭の井と山代が連安打の好機を作ったが三ゴロ併殺で逸し、五回に代わった小山内から二死後に江崎が中越え三塁打。死球(二盗)の2走者を小宮の左中間打で還し7点差とした。

マリナーズは三回と五回にも2安打2四球走者が毎回得点圏内に進んだが一打が出ずに無得点に終わった。

【Bravo】 打安点球 【厳原マリナーズ】 打安点球

⑥ 山口 真吾	2 2 0 2	⑤ 阿比留 舜	3 1 0 0
⑤ 小宮 博輝	2 1 2 1	⑥ 高松 翔	2 1 0 1
④ 井 聡裕	2 2 0 2	⑧ 武本龍太郎	2 0 0 1
② 山代 毅	4 3 4 0	③ 阿比留隆太	2 0 0 0
⑨ 井村 昭洋	2 0 0 1	DH 工藤 郁弥	2 1 0 0
DH 鳥羽 涼介	3 2 1 0	⑦ 里 隼人	1 0 0 1
③ 真木 悠吾	1 0 0 2	② 坂上 海翔	2 0 0 0
⑦ 吉富 源	2 0 0 1	④ 瀬谷 友啓	2 0 0 0
⑧ 江崎 雄介	3 1 0 0	⑨ 小山 耕平	1 0 0 1
P 延塚 敬志	- - - -	R 小出 龍	0 0 0 0
犠1振2残9併1	21 11 7 9	P 山本 卓	- - - -
		1 原田 育弥	- - - -
		1 鬼橋 佑介	- - - -
		1 小山内 穂	- - - -
		犠0振4残6併1	17 3 0 4

【審判】 築城貴憲、神宮保夫、坂上仁志、一宮努

1部予選会で優勝のBravoは4月6日～7日に佐世保市で開催の県大会に対馬支部代表で参加する。



①【2部一回戦】 09:28～ 1時間34分 6回時間切れ

球王クラブ	000 411	6	【三】田中
対馬・J	000 400	4	【二】江口、井

四回の球王クは先頭の縫田幸が中安打。二盗後に死球と暴投の二三塁に洲河が中前2点打。更に2連続敵失や牽制悪送球などで2走者が還り4得点。同点とされた五回は二死後に敵失と暴投二進から松村の中適時打。六回にも先頭村山の安打からの二死二塁に内飛失で加点した。

初回到先頭田中の左中間三塁打で先制機を作った対馬・Jだったが次打者への捕逸の間に本塁を突き投手の本塁カバーで憤死。二回は一死後に井が安打も続く三ゴロ併殺。三回にも先頭黒岩が安打するも続く捕前バント失敗で併殺。四回は先頭敵失に坂上の安打と四球の無死満塁に井が左2点二塁打。二死後に多田の安打で再び満塁とし、江口の右線2点二塁打で同点とした。五回に代わった縫田雄から2連続四球と死球の無死満塁を得たが、ここで代わった松村から2連続三振と三ゴロで絶好機を逸すると、六回

【球王クラブ】 打安点球

⑤15	縫田 雄人	4	0	0	0
⑥	縫田 幸星	4	1	0	0
②	松村 聖	3	0	0	1
④	洲河 直樹	3	1	2	0
③51	松村 繁文	3	2	1	0
⑧	築城 公則	3	1	0	0
⑦3	平江真佐斗	3	0	0	0
⑨	手束 優汰	2	0	0	0
9	村山 拓朗	1	1	0	0
①	縫田 幸広	2	1	0	0
7	古藤 瑛亘	1	0	0	0
犠O振4残6併0		29	7	3	1

【対馬・J】 打安点球

⑤	田中 淳也	4	1	0	0
⑥	一宮 努	3	0	0	1
②	坂上 仁志	2	1	0	1
⑨	原田 武茂	1	0	0	2
①	井 浩	3	2	2	0
⑧	阿比留新吾	3	0	0	0
⑦	黒岩 到	3	1	0	0
④	多田 直樹	3	1	0	0
③	江口 豊隆	2	1	2	1
犠O振4残6併2		24	7	4	5

終了時に時間切れにより敗戦した。

【審判】阿比留正臣、築城文士郎、神宮保夫、阿比留直樹

③【2部決勝戦】 13:07～ 1時間16分

ドンジャース	000 000 0	0	【二】洲河
球王クラブ	010 000 X	1	

球王クは二回到先頭の洲河が中二塁打。犠打で三進後に暴投で生還しこれが決勝点。その1点を19歳の縫田雄がドンジャースを2安打5四球4三振の完封に抑えた。

ドンジャースは二回二死後に森の中安打と松島の右安打一三塁。四球で満塁の好機も今季から監督就任の長岡は右飛に倒れた。四回と五回到四球走者をだしたが何れも二死後。六回一死後に四球走者が暴投で三進しスクイズを敢行も投飛で併殺。七回一死後の四球も遊→二→一の併殺で無得点に終わった。

【審判】中屋隆太、武本龍太郎、多田康佑、鬼橋佑介

【ドンジャース】 打安点球

⑥	中島 泰志	2	0	0	1
⑦	大石 孝徳	3	0	0	0
①	市山 和希	3	0	0	0
②	築城文士郎	2	0	0	1
③	村瀬 裕亮	3	0	0	0
⑧	森 俊介	2	1	0	1
⑨	松島 泰史	2	1	0	1
⑤	阿比留直樹	2	0	0	1
④	長岡 亮	1	0	0	0
4	市山 幸希	1	0	0	0
犠O振4残5併2		21	2	0	5

【球王クラブ】 打安点球

①	縫田 雄人	3	1	0	0
⑥	縫田 幸星	3	0	0	0
②	松村 聖	3	0	0	0
④	洲河 直樹	3	1	0	0
⑤	松村 繁文	1	1	0	0
③	中庭 俊樹	2	1	0	0
⑧	築城 公則	1	0	0	0
⑨	村山 拓朗	2	0	0	0
⑦	平江真佐斗	2	1	0	0
7	手束 優汰	0	0	0	0
7	古藤 瑛亘	0	0	0	0
犠2振5残3併0		20	5	0	0

2部予選会で優勝の球王クラブは4月6日～7日に諫早市で開催の県大会に対馬支部代表で参加する。

